弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では，下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で，情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は，下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	婦人科系腫瘍の組織発生に関する分子病理学的研究			
2. 対象患者	以下の期間において、当院で婦人科系腫瘍（子宮・卵巣・卵管の腫瘍や、これら婦人科領域以外の部位で同様の組織型を示す腫瘍）の手術を受けられた方			
3. 対象となる期間	1989 年 1 月 1 日　～　2030年 3 月 31 日			
4. 実施診療科等	病理診断科・病理部			
5. 研究責任者	氏名	加藤　哲子	所属	弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域
6. 共同研究機関 （共同研究機関研究責任者）	なし			
7. 研究の意義	婦人科系腫瘍においては、1つの病変内に複数の組織型がみられたり、前駆病変が存在したり、婦人科臓器（子宮や卵巣など）以外にも同じ組織型の腫瘍が発生したり、原発か転移かが問題となったりすることがありますが、それぞれの関係性については不明な点が多く、また病変が複雑なため病理診断が困難なこともあります。本研究はその関係性の解明と病理診断の向上に寄与するものです。			
8. 研究の目的	組織型や病変どうしの関係性が問題となった婦人科系腫瘍および前駆病変について、それぞれの性格を分子レベルで比較検討し、腫瘍の成り立ちを解明します。			
9. 研究の方法 （使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等）	手術検体の病理診断のために作製され保管されているパラフィンブロックを使用します。ブロックの薄切切片を用いて、糖や蛋白やDNAに対するさまざまな染色をしたり、またDNAを抽出してDNAの変化を解析したりします。1つの病変のなかの異なる組織型や異なる部位の病変どうしについて染色結果やDNA解析結果を比較検討し、腫瘍の成り立ちを解明します。解析の対象となる遺伝子は現時点で特定しておらず、様々な遺伝子を解析します。			
10. 個人情報の保護	データは匿名化（氏名などを削除し，この研究のための識別符号を付与）され，だれのデータかを特定できないようにして解析するため、対象者個人を特定する情報が公開されることはありません。研究結果を学会や学術論文で報告する場合も、個人情報が公表されることは一切ありません。			
11. 利益相反に関する状況	対象者の費用負担は一切ありません。利益相反については，大学院医学研究科医学研究（臨床研究等）利益相反マネジメント委員会に届け出ております。			
12. 連絡先	弘前大学大学院保健学研究科　生体検査科学領域　教授　加藤哲子			
	電話	0172 ― 39 ― 5967	FAX	

提出先：医学部附属病院総務課総務グループ（総務・広報担当）　mail：jm6453@hirosaki-u.ac.jp

※ 事前に大学院医学研究科倫理委員会の審査を経て許可されている必要があります。
（許可通知の写しを添付のこと）